第 6 回

越 谷 市 教 育 委 員 会 議 事 録

令和6年 5 月 3 0 日

定 例 会

令和6年第6回越谷市教育委員会議事録

招集年月日 令和6年5月30日
 招集の場所 越谷市役所第二庁舎3階 教育委員会室
 開閉会日時 開会5月30日 午前10時00分
 閉会5月30日 午後11時25分

出席委員

教 育 長	吉 田 茂	教 育 長 職 務 代 理 者	野 口 久 男
委 員	渡 辺 律 子	委 員	山 口 文 平
委 員	東 宏 行	委 員	足 立 夢 実

欠席委員 な し

説明のため会議に出席した者の職氏名

教育総務部長	小 泉 隆 行	学校教育部長	青 木 元 秀
教育総務部 副 参 事 兼 教育総務課長	會 田 修	学 校 教 育 部 副 部 長 兼 学 校 管 理 課 長	五 十 嵐 治
教育総務部 副 参 事 兼 生涯学習課長	川 澄 大 治	学 校 教 育 部 副 参 事 兼 学 務 課 長 兼 小 中 一 貫 校 整 備 室 長	磯 山 貴 則
スポーツ振興 課 長	坂 卷 孝 二	指 導 課 長	千 嶋 淳 一
図 書 館 長	茂 木 実	給 食 課 長	平 野 浩 孝
生涯学習課 調 整 幹 兼 科学技術体験 センター所長	小 抜 麻 衣 子	教 育 セ ン タ ー 所 長	菊 池 邦 隆
大 相 模 公 民 館 長	飯 田 文 洋	学 校 管 理 課 調 整 幹	杉 田 直 也
		指 導 課 調 整 幹	二 瓶 剛
		給 食 課 調 整 幹 兼 第一学校給食 センター所長	益 本 雅 行
		教 育 セ ン タ ー 調 整 幹	浜 崎 重 靖

職務のため会議に出席した者の職氏名

教育総務課
調 整 幹 鈴木 理 香

	議 事	てん末
議 事	教育長報告	
	・教育長専決第10号について	(秘密会)
	・教育長専決第11号について	
	・教育長専決第12号について	
	・教育長専決第13号について	
	・教育長専決第14号について	
	・教育長専決第15号について	
	・教育長専決第16号について	
	・教育長専決第17号について	
	・教育長専決第18号について	
	・教育長専決第19号について	
	・教育長専決第20号について	
	・教育長専決第21号について	(秘密会)
議 案		
	・第29号議案 越谷市学校運営協議会委員の任命について	原案可決
	・第30号議案 越谷市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱又は任命について	原案可決
協 議 事 項		
	・令和6年度越谷市教育功労者等表彰式の日程等について	
そ の 他		
	・若者まちづくり懇談会（中学生）の開催について	
	・越谷市いじめ防止対策委員会への諮問について	(秘密会)

◎開会の宣告

吉田教育長 それでは、これより5月の定例教育委員会会議を開会いたします。

本定例会に関し、現在のところ傍聴許可願の提出はございませんが、越谷市教育委員会傍聴人規則第1条第2項の規定により、開会後に許可願が提出された場合、傍聴を許可したいと存じます。

はじめに、本日の議事の進行について、教育長専決第10号及び第21号並びにその他報告2については、人事案件及び個人情報が含まれる内容であることから秘密会とし、他の議案等の後に審議したいと思いますが、これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

吉田教育長 ご異議ないようですので、そのように進めさせていただきます。

(午前10時00分)

◎教育長報告 「教育長専決第11号について」

吉田教育長 それでは、教育長報告「教育長専決第11号について」、学校管理課長から説明いたします。

学校管理課長。

五十嵐学校管理課長 去る4月18日の定例教育委員会会議以降、本日までの間に教育長が専決処理いたしました12件の専決事項についてご報告をさせていただきます。

こちらにつきましては、教育委員会の議決事項でございますが、緊急に処理する必要があり、かつ教育委員会会議を招集するいとまがなかったことから、越谷市教育委員会教育長に対する事務委任規則第2条第2項の規定に基づき、教育長が専決処理を行ったものでございます。

なお、教育長が専決処理を行った事項につきましては、同規則第2条第3項の規定に基づきまして、本定例会においてご報告をさせていただくものでございます。

それでは、専決第11号についてご報告をさせていただきます。

恐れ入りますが、会議要項の7ページをご覧ください。専決第11号 越谷市立大袋中学校外構改修工事請負契約の締結についての原案決定について。

越谷市立大袋中学校外構改修工事請負契約の締結についての原案決定について、別紙のとおり専決処理する。

令和6年5月16日、越谷市教育委員会教育長。

次に、会議要項の9ページをお開きください。こちらは令和6年6月定例市議会に、越谷市長が提出する議案の原案でございます。

提案理由でございますが、越谷市立大袋中学校外構改修工事の請負契約を締結するにあたり、

予定価格が、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条に規定する額以上となるため、提案するものでございます。

内容としましては、契約の目的、越谷市立大袋中学校外構改修工事。契約の方法、総合評価一般競争入札による契約。契約金額、2億3,188万円。履行期限、令和7年3月14日。契約の相手方、株式会社豊田工務店、代表取締役、豊田高行でございます。

次に、10ページをお開きください。本事業は、越谷都市計画事業西大袋土地地区画整理事業に伴い、移転対象となる越谷市立大袋中学校の外構の改修を行うものでございます。

工事の概要としましては、既存外構等解体工事、既存樹木伐採伐根工事、困障等外構工事等でございます。

また、参考といたしまして、11ページに入札状況、12ページに計画図、13ページに配置図を掲載しておりますので、ご参照いただければと存じます。

教育長専決第11号についてのご報告は以上でございます。

吉田教育長 総合評価一般競争入札について、簡単に補足説明をお願いできますか。

学校管理課長。

五十嵐学校管理課長 一般競争入札は、指名競争入札と違いまして業者の指名をしていない、業者が指名なしに入札できるものでございます。それに付随して総合評価というのは、価格だけでなく、業者の業績といったものも勘案して評価をし、落札者を決めるものでございます。

吉田教育長 ただいまの説明に対して、ご質問またはご意見等はございますか。よろしいですか。

[発言する者なし]

吉田教育長 なければ、この件については以上といたします。

◎教育長報告 「教育長専決第12号について」

教育長報告 「教育長専決第13号について」

教育長報告 「教育長専決第14号について」

教育長報告 「教育長専決第15号について」

教育長報告 「教育長専決第16号について」

教育長報告 「教育長専決第17号について」

教育長報告 「教育長専決第18号について」

吉田教育長 続きまして、教育長報告「教育長専決第12号から第18号」につきましましては、関連がございますので、一括して学校管理課長から説明いたします。

学校管理課長。

五十嵐学校管理課長 それでは、恐れ入りますが、会議要項の15ページをご覧ください。

教育長が専決処理いたしました12件のうち、専決第12号から第18号までの7件について、関連

がありますので、一括してご報告いたします。

このページの専決第12号から27ページの専決第14号につきましては、令和6年6月定例市議会に提案いたします「越谷市立小学校屋内運動場空調設備設置工事請負契約の締結についての原案決定について」、33ページの専決第15号から51ページの専決第18号につきましては、「越谷市立中学校屋内運動場等空調設備設置工事請負契約の締結についての原案決定について」でございます。

対象となる学校につきましては、小学校は大沢小学校ほか8校、中学校は中央中学校ほか7校となります。

今回の報告では、関連のある7件の報告のうち、主に専決第12号を説明させていただきます。

越谷市立小学校屋内運動場空調設備設置工事（大沢小学校外2校）請負契約の締結についての原案決定について、別紙のとおり専決処理する。

令和6年5月16日、越谷市教育委員会教育長。

会議要項の17ページをお開きください。こちらは、令和6年6月定例市議会に越谷市長が提出する越谷市立小学校屋内運動場空調設備設置工事（大沢小学校外2校）請負契約の締結についての議案の原案でございます。

提案理由でございますが、越谷市立小学校屋内運動場空調設備設置工事（大沢小学校外2校）の請負契約を締結するに当たり、予定価格が議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条に規定する額以上となるため、提案するものでございます。

内容としましては、契約の目的、越谷市立小学校屋内運動場空調設備設置工事（大沢小学校外2校）。契約の方法、一般競争入札による契約。契約金額、3億575万6,000円。履行期限、令和7年3月25日。契約の相手方、株式会社ナカノヤ、代表取締役、小林孝裕でございます。

次に、18ページをお開きください。本事業は、市内小学校の屋内運動場で行う学校行事、災害時に避難所として開設された際の暑さ対策等を目的として空調設備を設置するものでございます。

工事の概要につきましては、冷暖房設備、災害用照明設備、災害用コンセントで、工事対象施設につきましては、資料記載の学校になります。

また、参考といたしまして、19ページに入札状況を掲載しておりますので、ご参照いただければと存じます。

ほか6議案につきましても、専決第12号と同様に、それぞれ対象となる学校と契約の相手方ごとに契約の目的、契約の方法、契約金額、履行期限、契約の相手方を記載してございます。

なお、契約の相手方につきましては、株式会社ナカノヤのほか、株式会社新興設備、株式会社桶新設備、株式会社協和設備でございます。

また、中学校につきましては、屋内運動場のほか部活動で使用する柔剣道場等についても含まれております。

教育長専決第12号から第18号についての報告は以上でございます。

吉田教育長 ただいまの説明に対して、ご質問またはご意見等はございますか。

山口委員。

山口委員 災害用照明設備等、災害用コンセントというのはどういうものなのか、具体的に教えてください。

吉田教育長 学校管理課長。

五十嵐学校管理課長 災害用照明設備というのは、見えにくいのですけれども、このように屋内運動場に室内機が窓のところについています。その窓の下の通路に蛍光灯みたいなものがご覧になれるかと思います。拡大したものがこちらでございます。LEDの照明灯になります。また、このようなコンセント、鍵付きのものもつけております。

今回の設備は、電気、ガスの供給がストップした場合でも使えるように、LPガスタンクを設置しまして、このガスの供給によってエアコンの機械が動く、そのときに、この機械の中にバッテリーが内蔵されておりますので、電気が供給されなくても稼働できるというものです。ここで発電をしたものが、先ほどのコンセント、照明灯につながって電気が使えるという状況です。通常電力がストップした場合でも、これらを活用することができるということで災害用と銘打っております。

吉田教育長 山口委員。

山口委員 非常用電源は、1週間か3日間、それとも1日か、どれぐらいもつのですか。

吉田教育長 学校管理課長。

五十嵐学校管理課長 まずは、ガスタンクに入っているLPガスを燃料として発電をします。今手元に日数の資料がすぐに出ないのですが、2日間から3日間は使えるかと考えております。

吉田教育長 基本的には燃料が尽きるまでで、しかし、燃料が補充できれば、その後もまた使えるということですか。

学校管理課長。

五十嵐学校管理課長 LPガスの供給については、越谷松伏LPガス協会と契約を結んでいます。通常時は残量が20%を切ったときに補充していただきます。災害のときは、優先的に供給をしていただくということで協定を結んでおります。災害発生時に、まずは来ていただいて燃料を入れていただく、その後、必要に応じて燃料を追加いただくというふうに考えております。

吉田教育長 山口委員。

山口委員 実際に災害が起きたときに、こういう設備が活用された事例というのは、ほかの自治体であるのですか。どんなふうに活用、稼働していたのかという状況がもし分かれば教えてください。

吉田教育長 学校管理課長。

五十嵐学校管理課長 このようなLPガス施設を設置して、災害時に対応するという設備自体が最近

増えてきている状態のもので、聞いてはおりませんが、今後もし事例があれば、研究して活用できれば、そのような事例も活用してまいりたいと思います。

吉田教育長 山口委員。

山口委員 大型の設備なので、何かどこかで稼働実績があるようなものであれば、使えるというイメージが湧きやすいのですけれども、よく検討されて決めたことなので、何も異論はないのですけれども、事例はどうかと思いました。

吉田教育長 本市は、一番被害が甚大になると予測されるのは、利根川が決壊した、いわゆるキャサリン台風のときのような状況を想定しているのです。津波は本市までは来ないだろうし、地震も甚大な、道路が寸断されてどうにも身動きできないというような、能登半島のような特異な地形ですと起きるようではありますけれども、それも考えにくいということで、想定は利根川が決壊したときになります。避難はしたけれども、そこが水につかってコンセントが使えないというようなときには、そこは避難場所にはなり得ないだろうと、そういうようなことも想定して、ガスということが出てきたという経緯もございます。

学校管理課長。

五十嵐学校管理課長 水害を想定して、先ほどもお見せしましたのが、エアコンの室外機は普通の地面より高い位置に設置をしております。通常の水害であればこれが水につかるということはないという想定で設置しています。ただ、体育館自体は、かさ上げはしておりませんので、ここまです水が来れば体育館は、床面は水浸しになるところもあろうかと思いますが、ただ水がひいた後に使えるような状態になったときに、機械は水浸しになっていないですから使えるという想定でおります。

吉田教育長 何メートルぐらいまでですか。

学校管理課長。

五十嵐学校管理課長 それぞれの学校でその高さも違いますし、想定している河川の決壊の高さも違いますので、一概には言えませんけれども、1.5メートル程度は平均的にはかさ上げしているという状況でございます。

吉田教育長 実際には災害が起きたときに何が起こるか分からないので、臨機応変な対応ということですが、一応備えだけは万全にやるということです。

渡辺委員。

渡辺委員 お考えになって、これを入れることになったと思うのですけれども、例えば、体育館の屋根にソーラーパネルを設置して、そこからエネルギーを供給するとか、そういうお考えはなかったのですか。

吉田教育長 学校管理課長。

五十嵐学校管理課長 ソーラーパネル設置というのが、建物の構造的に屋根に設置していいものか

どうかというのがあります。ある程度の重さがありますから、それによって建物がもたない可能性もあります。そういった意味では、体育館の屋根というのは、今のようなソーラーパネルを設置するような構造にはなっていないという状況です。

また、余談ですけれども、各学校の屋上につきまして、ソーラーパネルを積極的に設置していく、もしくは屋根貸しで設置いただいているところですが、やはり一定の重さが設置できるような構造になっていない学校については、ソーラーパネルを設置していないという学校もございます。積極的に越谷市はゼロカーボン宣言もしていますので、太陽光発電を進めているわけですが、そういった構造上の課題があるところについては、残念ながら設置できていないという状況でございます。

吉田教育長 渡辺委員。

渡辺委員 検討はされて、ただ構造上、体育館の屋根にソーラーパネルの設置は無理だということなのでですね。

吉田教育長 学校管理課長。

五十嵐学校管理課長 そのとおりでございます。エアコンの設置の前に、そもそも学校施設に太陽光パネルを設置していきたいという考えがあったわけですが、そのときに様々な検討をする中で、体育館にはソーラーパネルは、今のタイプのソーラーパネルであればできないという判断をしておりますので、その判断を引き続き使っているというところでございます。

吉田教育長 それもありますけれども、天候に左右されることもあるし、蓄電の機能がどこまであるかというのも、日光が当たっている間に蓄電できる、その機能がどこまであるのかということもあるので、現実的に対応できるのがガスということで採用しているということもあります。

学校管理課長。

五十嵐学校管理課長 ソーラーパネルと連動した蓄電池を設置しているのは、学校でいうと西方小学校がございます。ただ、蓄電池というのが、今のものであれば非常に高価なものになります。ですから、なかなか設置は難しいところかと思っております。こちらの体育館のエアコン等につきましても、教育長が申し上げたように、まずはLPガスによってしっかりと冷房の機能を果たせるようにするというところで判断をしております。

吉田教育長 渡辺委員。

渡辺委員 LPガスの置き場所なのでございますけれども、どのくらいの規模の物をどの辺に確保していて、安全性とかはどうなのですか。

吉田教育長 学校管理課長。

五十嵐学校管理課長 こちらの写真にもあるとおり、ここに消火器もつけておりますけれども、やはり消防の法規から見て、その基準に見合った場所に、基準に見合った形で設置をしております。一応980キログラムほどありますけれども、手元に寸法の資料はないのですけれども、この写真ぐ

らいというような感じでございます。あまり巨大なものではございません。

吉田教育長 LPガスを燃料にしたエアコンは、越谷市だけではなく、ほかにも採用しているところもあるのでしょうか。

学校管理課長。

五十嵐学校管理課長 はい、おっしゃるとおりです。ただ、越谷市は全て体育館の空調はLPガスですけれども、ほかにはLPガスと電気、電気の場合は発電機も設置している併用のところもあります。ただ、最近やはりLPガスが主流になっているというような印象は持っております。

吉田教育長 よろしいですか。

渡辺委員 ありがとうございます。

吉田教育長 他にございますでしょうか。

野口委員。

野口教育長職務代理者 1点だけ確認させてください。この学校の3校等のグルーピングについては、議会にはどのように説明していくのですか。1校ずつではないのか、あるいはまとめてではないのか、3校ぐらいつつまとめて契約したという、その意図を教えてくださいだと思います。

吉田教育長 一抜け方式であるとか、あるいは一抜け方式での理由は何だといったときに、複数校を扱っている業者もいるのではないのかなど、いろいろご質問があろうかと思っておりますので、一括して答えていただければと思います。

学校管理課長。

五十嵐学校管理課長 まず、今回は小中合わせて17校の工事でございます。これを一つの工事として発注し、1業者が受注をするということになると、その業者の能力もあろうかと思っておりますけれども、やはり1者で対応するためには、全部一遍に進めるというわけにもいかないと思われ、ある程度の時間がかかってしまうだろうということが1つございます。

また、昨年度、エアコンの工事を発注していますけれども、これは1校ごと1つの工事として発注をしています。そのときに応札があった業者は7者です。また、市内でこういった工事が受注できる能力のある、入札可能な業者は9者ございます。昨年度の応札が7者ですから、7者程度が応札可能だろうという判断です。今回このように7件の工事ということですから、まずは市内の業者の受注機会の確保というところもありますから、7件に分けているというところがあります。

逆に、では全て1本ずつの工事、17本の工事で発注したとすると、業者もそれだけ受け切れないというのがあります。監理技術者は、現場に常駐しなければいけないという決まりがあります。そうすると、1者で5件受注したとすると、5人の技術者が必要になります。しかし、業者によってはそんなに技術者がいないというところもありますので、落札してもらえないことも考えられます。そういったことも含めて、7件の工事で発注をして、今回落札していただいたという

ころになります。

また、先ほど教育長からお話がありました、一抜け方式という落札の仕方ですけれども、簡単に言いますと、この工事に1番、2番、3番、4番と順番をつけます。1番の工事を入札かけてA社が落札しました。そうすると2番の工事については、A社は外れてB社、C社、D社があれば、B社、C社、D社の中で一番安いところというように決めていくやり方になります。このような一抜け方式の落札者の決め方をすることによって、先ほども申し上げたように広く市内の業者の受注機会を確保するという考えで行っております。

ただ、今回全部の工事7件を1番から7番とに分けないで、小学校について1、2、3番、中学校についてはまたもう一回やり直して、1、2、3、4番というふうにやっておりますので、同じ業者が小学校、中学校で落札しているものもあります。具体的にどの工事というのはお示しできないのですが、たまたま先に1番から4番の工事の中で落札をしたのだけれども、例えば4番目の工事の中で他に落札できる金額で入札してこなかった場合は、4番の工事も先に落札した業者もまた復活できるという仕組みもあります。一抜け方式ではありますけれども、2つの案件を落札している業者もいるという状況になっています。

説明が煩雑になりましたけれども、今回は工期をなるべく短くしていくこと、市内のなるべく多くの業者に受注していただくことということを考えて発注をしております。

吉田教育長 よろしいですか。

野口教育長職務代理者 はい。

吉田教育長 他にございますでしょうか。よろしいですか。

[発言する者なし]

吉田教育長 他になければ、以上を踏まえて進めてください。

◎教育長報告 「教育長専決第19号について」

吉田教育長 続きまして、教育長報告「教育長専決第19号について」、指導課長から説明いたします。

指導課長。

千嶋指導課長 それでは、専決第19号についてご報告させていただきます。

恐れ入りますが、会議要項の57ページをご覧ください。

専決第19号 損害賠償額を定め和解することについての原案決定について。

損害賠償額を定め和解することについての原案決定について、別紙のとおり専決処理する。

令和6年5月16日、越谷市教育委員会教育長。

次に、会議要項の59ページをご覧ください。こちらは、令和6年6月定例市議会に越谷市長が提出する議案の原案でございます。

次に、60ページをご覧ください。提案理由でございますが、令和元年11月30日に発生した学校

事故について、相手方と和解交渉を進めてきましたが、このほど合意に達しましたので、損害賠償額を定め和解するため、地方自治法第96条第1項第12号及び第13号の規定により、提案するものでございます。

恐れ入りますが、59ページにお戻りください。事故の概要につきましては、令和元年11月30日午前8時頃、越谷市立富士中学校の屋外運動場において、同校生徒が陸上競技部の活動中に、ウォーミングアップのため、バスケットボールを用いてドッジボールを行っていた際、他の生徒が投げたボールが当該生徒の頭部に当たり、負傷したものでございます。

なお、和解要旨等につきましては、ご参照いただきたいと思います。

専決第19号議案についてのご報告は以上でございます。

吉田教育長 ただいまの説明に対して、ご質問またはご意見等はございますか。

渡辺委員。

渡辺委員 この損害賠償金というのは、スポーツ振興センターから出るものですか。

吉田教育長 指導課長。

千嶋指導課長 主に学校で起こる事故の保険に関しましては、委員さんがおっしゃいましたスポーツ振興センターの保険になるのですが、こちらは治療費のみという形になります。今回は全国市長会学校災害賠償補償保険といたしまして、治療費ではなくて、慰謝料であったり、入院をして保護者が休業したりという場合の損害、入院諸雑費等を支払うものになります。

吉田教育長 スポーツ振興センターからは、保険金は出ているのですか。

指導課長。

千嶋指導課長 スポーツ振興センターからも保険金は出ております。令和元年に起こった事故でございますけれども、治療は断続的に行っておりましたので、スポーツ振興センターからももちろん治療費としてお金が出ております。

吉田教育長 見舞金は出ているのですか。

指導課長。

千嶋指導課長 全国市長会学校災害賠償補償保険からは慰謝料等という形になっておりますので、見舞金としては出ておりません。

吉田教育長 スポーツ振興センターからは見舞金という形は出ていないということですね。

千嶋指導課長 はい、出ておりません。

吉田教育長 渡辺委員。

渡辺委員 今回の和解まで4年半ぐらいかかっていると思うのですが、この理由を教えてください。

吉田教育長 指導課長。

千嶋指導課長 現在、被害生徒は高校3年生なのですが、中学1年生のときに起きたこの事

故によって、断続的に頭痛やめまいがしたり、首や肩が凝ってしまったり、そういう症状が続いたということがございます。レントゲン等を撮っても、脳内出血等の症状は見られないのですけれども、症状が軽いものではありますけどずっと続いていたということがございます。令和4年12月に医師から、症状固定という形で、ここで診察はストップになっております。ここまで長引いてしまった一つの要因と言えます。また損害保険会社の手続等が長引いたということもございます。

渡辺委員 ありがとうございます。

吉田教育長 この病名は何でしたか。

指導課長。

千嶋指導課長 脳振盪後症候群という病名です。外傷を負って、主に10%ぐらいの方がそういう症状が起こるということです。先ほど申し上げたような頭痛、記憶障害、首や肩が凝ってしまう等があるということです。

吉田教育長 これは学術的にも認められた病名ということでよろしいですか。

指導課長。

千嶋指導課長 はい。

吉田教育長 他にございますでしょうか。よろしいですか。

[発言する者なし]

吉田教育長 なければ、この件については以上とします。

◎教育長報告 「教育長専決第20号について」

吉田教育長 続きまして、教育長報告「教育長専決第20号について」、教育総務部長から説明いたします。

教育総務部長。

小泉教育総務部長 それでは、専決第20号についてご報告をさせていただきます。

恐れ入りますが、会議要項の61ページをご覧ください。

専決第20号 令和6年度越谷市教育費補正予算の見積りについて。

令和6年度越谷市教育費補正予算の見積りについて、別冊のとおり専決処理する。

令和6年5月16日、越谷市教育委員会教育長。

それでは、恐れ入りますが、別冊「令和6年度越谷市教育費補正予算総括表及び予算説明書」の2ページ及び3ページをお開きください。はじめに、歳入についてご説明いたします。3ページの表の一番下でございます歳入合計欄をご覧ください。教育委員会に関連する歳入につきましては、今回130万円を追加し、補正後の総額は61億9,154万6,000円となります。

歳入の内容でございますが、6ページ及び7ページの(1)歳入予算説明書をご覧ください。20款諸収入、6項雑入、1目雑入につきましては、教育活動の事故に係る施設賠償責任損害保険金130万

円を追加いたします。

次に、歳出の内容でございますが、戻りまして5ページ下段、教育費に係る歳出合計欄をご覧ください。今回130万円を追加し、補正後の総額は151億2,912万4,000円となります。

歳出についてご説明を申し上げます。12ページ及び13ページの事業別予算説明書をご覧ください。3項中学校費、1目学校管理費のその他学校管理費につきまして、教育活動中の事故に係る賠償金として、歳入と同額の130万円を追加いたします。

教育長専決第20号に係るご報告は以上でございます。

吉田教育長 ただいまの説明に対して、ご質問またはご意見等はございますか。よろしいですか。

[発言する者なし]

吉田教育長 なければ、この件については以上とします。

◎第29号議案 「越谷市学校運営協議会委員の任命について」

◎第30号議案 「越谷市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱又は任命について」

吉田教育長 続きまして、第29号議案及び第30号議案につきましては、選出母体における令和6年度の役職改選等に伴う附属機関の委員の委嘱または任命に係る案件でございますので、一括して所管課長から説明後、各議案に対する質疑、討論を行うことといたします。

第29号議案、指導課長。

千嶋指導課長 それでは、第29号議案 越谷市学校運営協議会委員の任命について、ご説明いたします。

恐れ入りますが、会議要項の67ページをご覧ください。

第29号議案 越谷市学校運営協議会委員の任命について。

令和6年度越谷市学校運営協議会委員を別紙のとおり任命するものとする。

令和6年5月30日提出、越谷市教育委員会教育長。

提案理由でございますが、越谷市立北陽中学校及び越谷市立大袋中学校の令和6年度学校運営協議会委員について、選出母体における令和6年度の役職改選並びに地域住民等の学校運営への参画を促進することに伴い、新たに委員を任命するため、提案するものでございます。

続きまして、会議要項の69ページをご覧ください。

それでは、表に沿って選出区分、氏名、備考について申し上げます。また、任期は令和7年3月31日まででございます。なお、敬称については省略させていただきます。

令和6年度北陽中学校学校運営協議会委員。

2号委員、香取弘美、PTA副会長、新任。

令和6年度大袋中学校学校運営協議会委員。

2号委員、前田健作、PTA会長、新任。

続きまして、会議要項の70ページをご覧ください。ご参考までに、今回ご提案させていただいた2名を加えた、令和6年5月30日現在の2校の令和6年度学校運営協議会委員名簿（案）を掲載させていただきましたので、ご参照いただきたいと思います。

第29号議案についての説明は、以上でございます。ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

吉田教育長 続いて、第30号議、指導課長。

千嶋指導課長 それでは、第30号議案 越谷市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱又は任命について、ご説明いたします。

恐れ入りますが、会議要項の71ページをご覧ください。

第30号議案 越谷市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱又は任命について。

越谷市いじめ問題対策連絡協議会委員を次のとおり委嘱又は任命するものとする。

それでは、表に沿って選出区分、氏名、備考の順に申し上げます。また、任期については在職期間中となり、いずれも新任でございます。なお、敬称については省略をさせていただきます。

越谷市いじめ問題対策連絡協議会委員。

3号委員、小崎賢司、越谷市小学校長会・南越谷小学校長。

4号委員、神田博之、越谷市中学校長会・大相模中学校長。

8号委員、伊藤昌弘、さいたま地方法務局・越谷市局長。

8号委員、小笠原慎吾、越谷警察署・生活安全課長。

令和6年5月30日提出、越谷市教育委員会教育長。

提案理由でございますが、選出母体における令和6年度の役職改選等に伴い、新坂一美氏、千嶋淳一氏、田中恵美氏、田中崇氏の後任委員を委嘱又は任命する必要があるため、提案するものでございます。

続きまして、会議要項の72ページをご覧ください。ご参考までに、今回ご提案させていただいた4名を加えた、令和6年5月30日現在の越谷市いじめ問題対策連絡協議会委員名簿（案）を掲載させていただきましたので、ご参照いただきたいと思います。

第30号議案についての説明は、以上でございます。ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

吉田教育長 これより本案に対し、質疑、討論を行います。

はじめに、第29号議案 越谷市学校運営協議会委員の任命について、ご質問またはご意見等がございますか。よろしいですか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 ないようですので、これより第29号議案を採決いたします。

本案は原案どおり決することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

吉田教育長 ご異議ないものと認め、本案は原案どおり可決いたしました。

次に、第30号議案 越谷市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱又は任命について、ご質問またはご意見等はございますか。

山口委員。

山口委員 72ページの7号委員のところの青木委員のところなのですが、市教育委員会ではなくて市役所となっているのは何か理由があるのですか。

吉田教育長 指導課長。

千嶋指導課長 確認をいたします。

吉田教育長 これはずっとこういう表記です。特に今回変えているわけではないのですが。

学校教育部長。

青木学校教育部長 今、手元に条例等がないので、正しいものは分かりませんが、7号委員を見てみますと、市役所の職員、いわゆる行政職にある者ということで選出をされているのかと思います。その関係で市役所という表記になっているのかもしれませんが。これが正しい表記であるかどうか併せて確認をさせていただきたいと思います。

吉田教育長 教育委員会となっているのは、教育委員会から互選で選ばれていたから、そういう意味もあるかもしれないので、確認してください。

いずれにしても、条例で定めてある規定だとすれば、それを変えなければならないので、その辺はよく検討してください。

ほかにございますでしょうか。

[発言する者なし]

吉田教育長 ないようですので、これより第30号議案を採決いたします。

本案は原案どおり決することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

吉田教育長 ご異議ないものと認め、本案は原案どおり可決いたしました。

◎協議事項 「令和6年度越谷市教育功労者等表彰式の日程等について」

吉田教育長 続きまして、協議事項に入ります。

令和6年度越谷市教育功労者等表彰式の日程等について、教育総務課長から説明いたします。

教育総務課長。

會田教育総務課長 それでは、令和6年度越谷市教育功労者等表彰式の日程等について、ご説明いたします。

恐れ入りますが、会議要項の73ページをお開きください。

まず、日程につきましては、令和6年11月28日木曜日、午後3時30分からを予定しております。

次に、場所につきましては、昨年度と同様に、越谷市中央市民会館劇場にて開催したいと考え

ております。

また、(3)の表に、過去5年間の開催状況を記載いたしておりますので、ご参照いただきたいと存じます。

なお、教育委員会会議の11月定例会につきましても、表彰式と同じ日程で越谷中央市民会館内の会議室にて実施したいと考えております。

また、表彰式の実施内容等でございますが、例年と同様に、受賞者への感謝の気持ちをより強く伝えることができるよう、表彰状を代表者だけではなく、お一人おひとりに手渡しすることを想定しております。

また、思い出に残るような表彰式とするため、アトラクションの実施や記念写真撮影ブースの設置など、実施内容について検討してまいります。

なお、受賞者の候補につきましては、越谷市教育委員会表彰規程及び越谷市教育委員会表彰規程実施要領に基づき、各小中学校をはじめ各種団体等からご推薦いただき、取りまとめを行った上で、後日、改めて事務局案として提案をさせていただきます。

また、「児童生徒で、他の模範となるもの」の表彰につきましては、この表彰式ではなく、年度末に各学校において修了式等で行う予定でございます。

令和6年度越谷市教育功労者等表彰式の日程等についてのご説明は、以上でございます。ご協議のほどよろしくお願い申し上げます。

吉田教育長 これより協議に入ります。ただいまの説明に対して、ご質問またはご意見等がございますか。

例年どおりということですのですけれども、よろしいですか。

〔「いいと思います」と答える者あり〕

吉田教育長 なければ、この件については以上といたします。

◎その他 「若者まちづくり懇談会（中学生）の開催について」

吉田教育長 続きまして、その他の報告事項に入ります。

「若者まちづくり懇談会（中学生）の開催について」、教育総務課長から説明いたします。
教育総務課長。

會田教育総務課長 それでは、若者まちづくり懇談会（中学生）の開催についてご報告いたします。

恐れ入りますが、会議要項の75ページをご覧ください。ご案内のとおり、「第5次越谷市総合振興計画後期基本計画」と「第4期越谷市教育振興基本計画」につきましては、令和8年度から令和12年度までの5か年を計画期間としており、令和6年度、7年度の2か年をかけて計画策定を進めてまいります。

この若者まちづくり懇談会につきましては、市長部局から、これらの計画の策定に当たり、若

者の感じている市の課題や今後の施策等についてご提案いただきたく開催するもの、と聞いております。教育委員会といたしましても、子どもの視点から教育施策に関する意見を聴取するため、中学校2年生を対象として、この若者まちづくり懇談会を市長部局と共に開催したいと考えております。

続きまして、開催の概要につきましては、恐れ入りますが、会議要項の76ページをご覧ください。こちらが案内チラシとなっております。開催日につきましては、8月3日土曜日、午後1時30分から午後4時まで、テーマにつきましては、「楽しく学び続けられるまち」を考えております。この「まなび」につきましては、主に学校の授業以外で行っている地域活動や習い事などの生涯学習、生涯スポーツを想定しております。

なお、既に計画策定基本方針でお示ししております、市立小中学生へのアンケート調査につきましても、当初の予定と変更なく、実施をしております。テーマは、現在のところ未定でございますが、若者まちづくり懇談会のテーマと重ならないように、教育委員会事務局、策定委員会及び策定検討部会において協議しております。子どもの意見聴取につきましては、幅広い子ども施策を総合的に推進し、対象となる子どもの意見を適切に反映させるために行うものであり、一つの手法や場面だけではなく、子どもに合わせた聴き方に取り組む必要があることから、このたびアンケートと懇談会の両方の機会を設けることといたしました。

また、今後の若者まちづくり懇談会の結果等につきましても、教育委員会会議で随時ご報告させていただきます。

若者まちづくり懇談会（中学生）の開催についての報告は、以上でございます。

吉田教育長 ただいまの説明に対して、ご質問またはご意見等はございますか。

足立委員。

足立委員 分かればいいのですが、まちづくり懇談会の記念品というのは、どのようなものでしょうか。

吉田教育長 教育総務課長。

會田教育総務課長 記念品につきましては、まだ今のところ決まっていないと聞いております。

足立委員 ありがとうございます。

吉田教育長 よろしいですか。

足立委員 はい。

吉田教育長 ほかにございますでしょうか。よろしいでしょうか。

〔発言する者なし〕

吉田教育長 なければ、この件については以上とします。

秘密会に入ります前に、次回の教育委員会会議の日時につきましては、6月27日木曜日、午前10時から教育委員会室で開催したいと思っておりますが、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

吉田教育長 では、そのようにいたしますので、よろしく願いをいたします。

◎閉会の宣告

吉田教育長 それでは、本定例会に提出された議事は終了いたしました。

これをもちまして閉会といたします。ありがとうございました。

(午前11時25分)

この会議のてん末記載に相違ないことを証するため、署名する。

教 育 長

吉 田 茂

委 員

野 口 久 男

委 員

渡 辺 律 子

委 員

山 口 文 平

委 員

東 岩 行

委 員

足 立 壽 史

書 記

教育総務課調整幹 鈴木 理香